

ほぼ月刊 んだもしたん

(諸県弁の「まあどうした事でしょう」)

N. dani shifan

猪八重溪谷へ行ってみた!

8月10日に、家族3人で涼しい所を探しに、初めて猪八重溪谷に行きました。

猪八重溪谷とは、日南市北郷町の広渡川の支流、猪八重川の更に支流、猪八重谷川にかかる、姿の美しい五重の滝、流合の滝、岩つぼの滝など数か所の滝がある場所です。

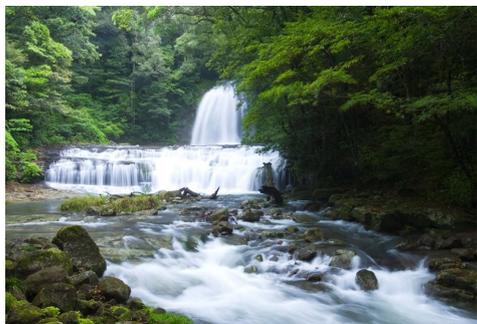
猪八重谷川の周囲は、猪八重風景林に指定され、岩山と森林が綺麗な自然林を形成しています。

恒久の自宅から登山口まで約44km車で約1時間、山道入口から五重の滝までは3kmの道のりで案内板には110分と書かれていましたが、私たちは80分位で到着しました。

川沿いの道は遊歩道が整備されており、途中途中で川を渡りながら登って行きます。

一号橋から7号橋まで強固な鉄の橋があり、初心者の方たちも歩きやすくスムーズ登れました。

午前11時頃から登り始めて、途中でお昼ご飯。川沿いの石に腰かけてゆっくりとおにぎりを食べるのが出来ま



す。

マイナスイオンたっぷりの道中には滝も多くあり、草木に名札がついていますので、勉強になります。

それからダムや発電所などがありました。昔は電気が無く自家発電を行っていたようです。と言っても、規模の小さな、頑張れば自分たちで作れるような? 発電所跡でした。

五重の滝には大きめの泳げるスペースがあったので、次回来的时候は水着を持参しようと思います。

初心者にはお勧めのポイントですヨ!

(等)

ランチ野郎 見参!

「トトロに逢いたい!」の巻

コロナウイルスの影響で県外に遊びに行けない状況が続いていますが、その反面、宮崎県内で今まで行ったことのないところに目を向けるようになりました。宮崎県内でも宮崎駿のスタジオジブリの作品のキャラクターに逢えるスポットが色々あるみたいですね。今回は高原町にリアルなトトロに出逢える場所がある



と聞き行ってみました。民家の庭に左官職人さんがお孫さんの為に製作したものだそうですが、本格的なコンクリート製で、182センチの自分と比べてもその大きさが分かります。駐車場も3台分整備されていて、赤い傘も100円で貸して貰えます。あくまで民家の敷地内なので迷惑のかわからないように見学しました。

お昼は、車で5分くらいのところにある「杜の穂倉亭」で食事しました。天ぷら定食1400円、トンカツ定食1300円を注文。3000円プラスでデザートと飲み物が追加できます。2階席が景色がキレイですよ!

お孫さんの為に製作したものだそうですが、本格的なコンクリート製で、182センチの自分と比べてもその大きさが分かります。駐車場も3台分整備されていて、赤い傘も100円で貸して貰えます。あくまで民家の敷地内なので迷惑のかわからないように見学しました。



お孫さんの為に製作したものだそうですが、本格的なコンクリート製で、182センチの自分と比べてもその大きさが分かります。駐車場も3台分整備されていて、赤い傘も100円で貸して貰えます。あくまで民家の敷地内なので迷惑のかわからないように見学しました。



発行 有限会社ナツプ
編集責任 中田 等
発行日 令和二年 九月
問合せ先 〇九八五五一七四〇九



「〇〇がそんなに高いのー!」というのは、どの世界でもある話です。価格はトトロ本などのレビュー、口コミでも本場に多く、イヤホンユーザーが日々こだわりを主張しているのですが、その中に割とよく出てくるのが「沼」という表現。これは、いわゆる抜け出せない沼にハマってしまった、という意味合いの言葉です。大体最初は良い音で音楽を楽しみたい...と手ごろなものを購入し、それで満足するか、いやいやと深みにハマっていきまますよね。安いものを買って集めたり、高級なものを買ってみたり。そんな中で、とある日本のイヤホンメーカーが打ち出した「提案」が非常に共感できるもので、私も手に入れたものがあります。「final」社の「MAKES3」です。コンセプトは、「自分だけの音を作れるイヤホン」で、究極847通り以上の音を自分で作ることが出来

ます。また、「アンティークになり得る道具へ」という考えの元、ネジで開け閉め出来る修理まで可能というものです。さらに、このメーカーはこの企画をクラウドファンディングで発表し、見事に予定額を大幅に上回る資金を得て開発・販売することが出来ました。目標二百万に対し、三千万円以上集まるという結果だった様です。ユーザーの潜在意識、好奇心・探求心に込めている、そして面白いからこそ数字だと思えます。商品レビューを見ると賛否両論あるのですが、今では各ユーザーのオススメのチューニングレシピも公開し合うなど、新たなカスタマイズの沼が生まれた様です。面白いポイントで、「お客様にカスタマイズ性を提供する」というものがあります。個人的に非常に参考になったケースをご紹介します(紀)

「イヤホンの沼」

